

# フラッパー弁

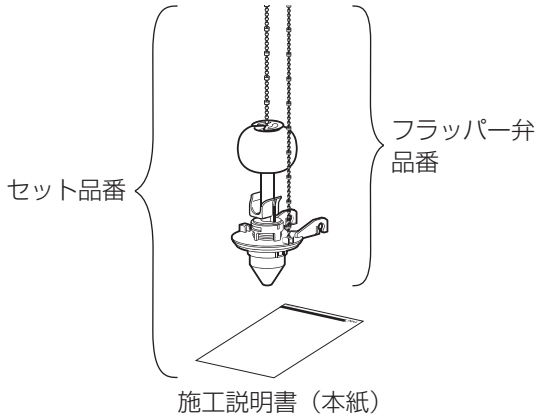
## 【取替えの注意】

各部の組付けは確実に行ってください。  
※ 漏水および止水不良、洗浄不良の原因になります。

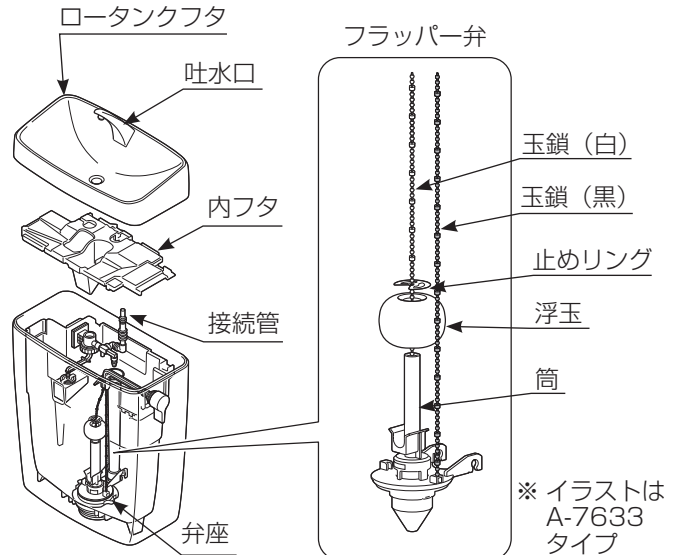
## 部品の確認

### 外観図

※ フラッパー弁の品番によって、形状が一部異なります。  
※ 注文品番はフラッパー弁と施工説明書のセット品番です。  
セット品番とフラッパー弁品番は異なりますが、間違いではありません。



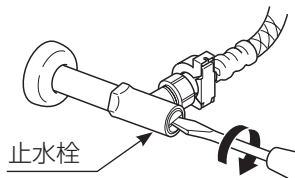
## 各部のなまえ



## 施工方法

### 古いフラッパー弁の取外し

1. 止水栓をマイナスドライバーで時計回りに回して、タンクへの給水を止めます。



2. 洗浄ハンドルを操作して、ロータンク内の水を抜きます。

#### 【注意】

タンクの手洗吐水口から水が出ないことを確認してください。

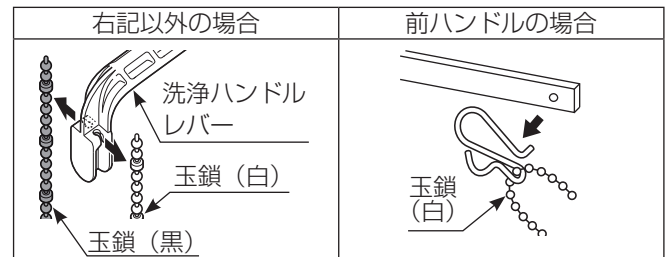
3. ロータンクフタを持ち上げて外し、安定した場所に置きます。

4. 内フタを外します。

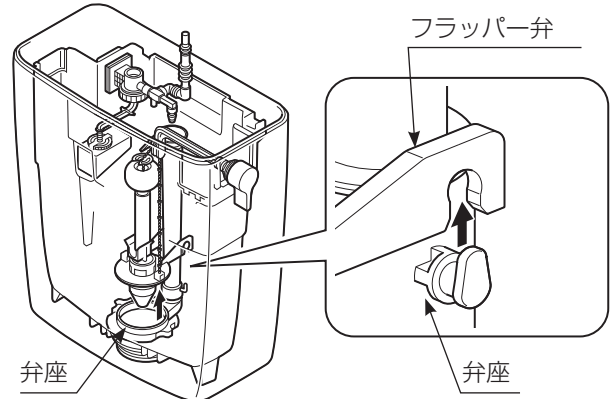
#### 【注意】

手洗付の場合、接続管を先に外してから、内フタを外します。

5. 洗浄ハンドルのレバーから玉鎖を外します。



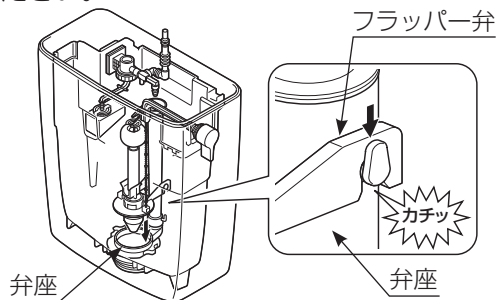
6. 弁座からフラッパー弁を取り外します。



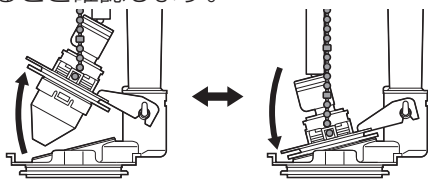
# 施工方法

## 新しいフラッパー弁の取付け

- 新しいフラッパー弁を弁座に取り付けます。取付部が「カチッ」と音がるまでしっかり取り付けてください。



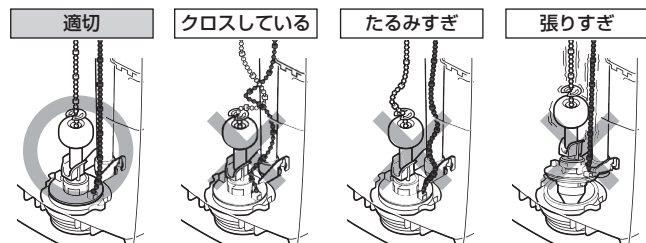
- フラッパー弁がスムーズに上下し、正確に取り付けられていることを確認します。



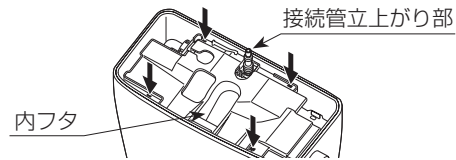
- 玉鎖を洗浄ハンドルのレバーに取り付けます。

右記以外の場合		前ハンドルの場合
<b>取外し方</b> 	<b>取付け方</b> 	
玉鎖は手前側が白、壁側が黒になるように取り付けてください。 ※反対に取り付けると洗浄不良の原因になります。		〇印部をすき間がないよう取り付ける 鎖を取り付けた後、上図〇印部にすき間がなく、鎖が抜けないことを確認してください。 ※鎖が抜けると、洗浄不良の原因になります。

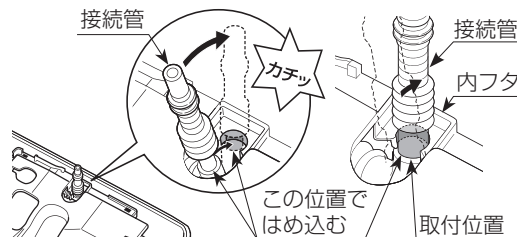
その後ハンドルを操作し、正常に動作することを確認してください。  
鎖の張りすぎやたるみすぎがないことを確認してください。  
※洗浄不良や止水不良の原因になります。



- 内フタを取り付けます。
  - 手洗無の場合、矢印(図中)4カ所を押して、内タンクにしっかりとめ込みます。5.へ進みます。
  - 手洗付の場合、内フタに接続管を通し、矢印(図中)4カ所を押して、内タンクにしっかりとめ込みます。



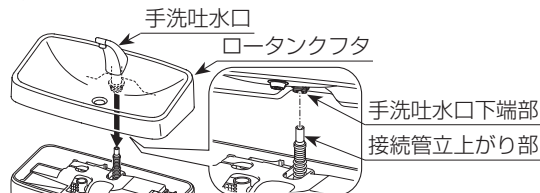
- 接続管立上がり部を内フタにある接続管立上がり部の取付位置にしっかりとめ込みます。



### 【注意】

接続管は内フタに確実に取り付けてください。  
※取付位置を間違えたり、取付けが不十分だと漏水の原因になります。

- ロータンクフタを取り付けます。手洗付の場合、手洗吐水口の下端部に接続管を確実に差し込んでください。



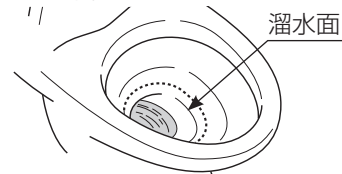
### 【注意】

接続管は内フタにしっかりとめ付けてください。  
ロータンクフタが浮いていたり、ぐらつく場合は、差し込み不十分ですので、再度差し込み直してください。  
※漏水の原因になります。

- 止水栓を反時計回りに回して全開にし通水します。

## 取付後の確認

- 漏水がないことを確認します。
  - 洗浄ハンドルを操作して便器洗浄を数回行います。
  - 各接続部に漏水がないことを確認します。
- 便器洗浄を確認します。
  - 便器鉢内に長さ約760mmのトイレットペーパーを丸めたものを7個入れます。
  - 1回で排出できない場合は、内部金具を点検します。
- 溜水面の点検をします。
  - 便器洗浄を数回行った後、便器の溜水面が低下しないことを確認します。



### 【注意】

水漏れ点検は、数回繰り返して水を流さないと確認が困難な場合があります。